クラフトパークの運営にかかるマーケット・サウンディング（市場調査）結果

	A団体	B団体
ア 用途について	<ul style="list-style-type: none"> ・総合工芸施設として施設全体の活用を図り、9つの工房全てを活用する。 ・生涯学習の振興の他、学校教育に資するよう学校園の活用促進を行う。 	現状の用途をそのまま活かしながら、新たな要素を追加し、施設のポテンシャルの最大化をはかる。
イ 事業内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・創作教室の実施 ・イベントの実施 ・工芸の魅力やモノづくりの楽しさを伝えるための空間づくり等 	現在の工房を継続し、既存の利用者の継続利用を守る事を前提に、アの内容を実施し「日本で唯一の総合工芸施設」をパワーアップさせることを軸に事業内容を検討する。
ウ 事業実施期間について	5年	5～10年
エ 提案を実現するために本市に求める条件など	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に貢献する施策を実施してほしい。 ・施設の認知度向上のため、大阪市が全面的に広報支援をしてほしい。 ・貸工房等や体験教室の利用料金上限額を見直してほしい。 	物価高騰を鑑みた適切な予算
オ その他施設の利活用にかかるご意見など	(施設設置後)25年経過しているため設備更新が必須	—
カ 本施設の設置目的を達成しつつ、自主事業も含めて、黒字運営が想定できる提案。	業務代行料は必須	利用料金の上限額を変更(約25%UP)
キ 認知度アップのための情報発信またはPR方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄各駅でのパンフレット配架、ポスター掲示、ポスティング、SNS・HP等の活用 ・各種イベントなどでの積極的な広報 ・行政、地域、企業との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設HPリニューアル ・SNS、メディアの活用 ・他施設との連携 ・口コミ
ク 指定管理者の募集時期の希望	公募開始から申請期限までの十分な期間設定	現指定管理者が優位にならないような公募開始から申請期限までの十分な期間設定
ケ 施設の管理運営に関する要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設規模が大きく、施設設備の点検や、特殊な設備の維持管理には高額な経費がかかる。また、特殊なノウハウも必要で、通常の設備管理業者だけでは対応が難しいため、別途経費負担がなしでは運営が困難と考える。 ・設備・備品も含めて計画的な更新と改修が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・現指定管理者からの適切な引継ぎ ・劣化が見られる工房の備品は大阪市の予算で刷新 ・本施設の竣工後25年以上経過しているため、中長期修繕計画の実施
コ 業務代行料（指定管理料）について	適切な業務代行料が必要である。	適切な業務代行料が必要である。
サ その他運営に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に資するだけでなく、区や地域の活性化・にぎわいづくりについての活用ができれば、一層有効な活用が図れると考える。 ・交通の利便性を高める必要がある。 	—